

2025年3月17日

**NPO等ソーシャルセクターの経営力を向上する
「慶應ノンプロフィットリーダーズ・プログラム (Keio LEAP for Nonprofit) 」開講の
お知らせ**

この度、慶應義塾大学は、「慶應ノンプロフィットリーダーズ・プログラム」(Keio Leaders Program for Nonprofit Management、通称：“KEIO LEAP for Nonprofit”)を開講することになりました。

日本や世界が直面する様々な社会課題の解決に向けて、NPOやNGOを始めとするソーシャルセクターの重要性が高まっています。その数も増加傾向にあり、国内に約5万のNPO法人、約1万の公益財団・社団法人、約10万の一般財団・社団法人が活動しています。

一方で、これらの組織の多くが、慢性的にヒト・モノ・カネ・情報の不足という課題を抱えており、高いマネジメントスキルを持つ先導的人材の育成・強化が必要とされています。また、複雑化する社会課題に向き合うために、政府や企業などクロスセクターでの連携もますます求められてきています。

“KEIO LEAP for Nonprofit” は、非営利組織の担い手となる先導的人材のマネジメントスキル向上を通じて、日本のソーシャルセクターの社会的インパクト創出力を飛躍させることをめざします。

1. 特長

・MBA (Master of Business Administration : 経営学修士) レベルの実践的な学び

慶應ビジネス・スクール(経営管理研究科)や慶應SFCの教員をはじめとして、組織経営や非営利組織に関して理論的なバックグラウンドを持つ研究者と、NPO等の経営実績を持つ実務家の双方が講師を務めます。

・米国のNPOや教育機関との連携

ソーシャルセクター経営に関する研究実績豊富な米国の大学講師を招いた授業や交流も予定しています。また、本プログラムの受講者は、米国のNPOや大学等の教育機関と連携したフィールドトリップに任意で参加できます。

・クロスセクター連携の推進

非営利組織のマネジメント層に限らず、中間支援組織の職員や企業のCSR担当者、行政における協働・連携担当者など、多様な受講者を受け入れることで、産官学民を行き交うクロスセクターの知見・人材・組織の交流を促進するプラットフォームを構築し、社会変革を実現するエコシステムを実現・強化することをめざします。

2. 開講時期

2025年9月より半年間のパイロットプログラムを開講した後、2026年4月より1年間のフルプログラムを開始する予定です（詳細については、後日ご案内します）。

3. カリキュラム（パイロットプログラム版）

非営利組織が、よりサステナブルに、より大きな社会的インパクトを生み出すために必要なマネジメントスキルを学ぶ、MBAレベルのサーティフィケートプログラムです。

リーダーシップ、人材マネジメント、サービスデザイン、ソーシャルマーケティング、財務会計、インパクト評価、政策提言、リサーチスキルなど、ソーシャルセクターを牽引する非営利組織の経営層に必要なさまざまな分野をカバーします。

2025年9月よりパイロットプログラム（半年間）を開始し、2026年4月より1年間のフルプログラムを実施予定です。プログラムの詳細および受講者の募集要項は、5月中旬頃に公表します。

4. 支援

本プログラムの開講にあたり、米日財団（United States-Japan Foundation）から支援をいただいております。

■米日財団について

米日財団は、二国間関係の強化と共通の課題への対処に取り組む独立した慈善団体です。私たちは、次世代のリーダーを支援し、革新的なイニシアチブに助成金を提供し、解決策を模索する関係者間の協力と交流を促進します。

理事長：ローレンス・K・フィッシュ（フィッシュ・ファミリー財団理事長）

副理事長：伊藤公平（慶應義塾長）

設立：1980年 <https://us-jf.org/ja/>